

学年	教科	科目	教科書名	副教材名	単位数
高3	情報	情報特講	高校情報 I Python	・ベストフィット情報 I ・実践攻略 情報 I	1 単位

1. 授業のねらい

- ① 大学入試共通テストで実施される教科情報【情報 I】において、必要とされる知識・技能を身につける。
- ② 演習に伴う実習を通じてリテラシ能力を身につける。

2. 授業のすすめ方

授業展開は、座学により問題演習を徹底して行う。予習は必須となる。

教科書等の教材遺体に必要な資料や課題は iPad にてデータ配信をしますので、iPad は必需品です。

3. 学習上の留意点

- 授業は基本的に T.T. にて教室で行います。2 学期以降は 2 クラスに分けての少人数展開も想定していません。
- 実習により確認が必要な単元については、コンピュータガーデンも利用します。
- 演習授業は予習により自身の手を動かし、分かることと分からないことを区別したうえで臨む必要があります。週に 1 時間の授業となりますので、毎時間必要な予習はかならず行ってください。
- 今年度、大学入試共通テストで初めて実施される教科のため、問題傾向等についても全くの未知数となります。とにかく数多くの問題に触れ、どのような問題にも対応できるよう演習する必要があります。

4. 評価方法

情報の科学は、実習による成果も重視するため、学習評価には実習点を高い割合で入れます。

学習評価は、概ね筆記試験 80 点+その他の評価 20 点程度で行います。(状況により割合は変動します)

- 筆記試験は年 2 回で、各学期末の定期考査で実施します。
- その他の評価については、実習の完成度、授業の理解度を見るための課題提出および定期テストや完成作品では評価しきれない日常の学習活動(授業態度・課題への取り組み方など)を評価します。
- 授業内容により、確認テストを行います。

5. 定期考査

定期考査の問題は、大学入試共通テストに出題が予想される内容を出題します。

教科書には、重要語句は太字で記載され、絵や表を使った説明も多く、イメージしやすく作られているので、繰り返し読んでください。また、演習問題を数多く解き、十分理解して試験に臨んでください。

6. 授業開始までに用意するもの：

筆記用具・教科書・副教材・iPad

7. 授業進度予定

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	共通テスト対策問題演習		各章における種々の問題を解くことができ、大学入試共通テストに向けて適切な準備をする
	五月	第1章 情報社会の問題解決	・課題の提出 ・小テスト	
	六月	第2章 コミュニケーションと情報デザイン		
	七月	1学期期末考査	・考査得点	
二 学 期	九月	共通テスト対策問題演習		各章における種々の問題を解くことができ、大学入試共通テストに向けて適切な準備をする
	十月	第3章 コンピュータとプログラミング	・課題の提出 ・小テスト	
	十一月	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用		
	十二月	2学期期末考査	・考査得点	

※各章を実施するタイミングは流動的であり、各章の一部分だけを先に取り扱うなど、授業進度・深度により内容の変更もありうる